

INPEX Vision 2035 に関して、株主・投資家の皆様から頂戴した主なご質問内容をまとめました。INPEX Vision 2035 のスライドと併せてご覧ください。

1. INPEX Vision 2035

Q1. 2035 年までに営業 CF を 60% 拡大することだが、量的成長ではなく EPS・ROE などの率的成長が重要ではないか？

- ▶ 営業 CF の 60% 増と ROE 10% 以上の達成を同時に目指す。

Q2. 2035 年に目指す営業 CF の金額は？

- ▶ 社外の調査機関の長期油価見通しやインフレ動向・予想等を総合的に勘案し、油価 90 ドル程度、為替 150 円程度を前提とし、かつ、ROE10% 以上の目標を達成するための水準として、2035 年時点で 1.5 兆円程度を目指す。

Q3. 2035 年の ROE・ROIC 目標の油価・為替前提は？

- ▶ 社外の調査機関の長期油価見通しやインフレ動向・予想等を総合的に勘案し、油価 90 ドル程度、為替 150 円程度を念頭に置いている。

Q4. CCS・水素、電力関連分野・ヨウ素・希少金属・風力・ソーラー等について、INPEX の強みが活きる理由は？

- ▶ 低炭素分野や電力事業・その周辺分野での挑戦に際しては、競争優位性が築ける可能性のある分野に注力していきたいと考えている。INPEX に強みのある技術・知見としては、例えば、地下技術、オフショア開発、ガス分離・生産、かん水生産等が挙げられる。また、コアエリアでは強固な事業基盤や官民とのネットワークを築いており、事業を実行するエリアとして INPEX に強みがあると考えている。これらの強みを活かし、分野間のシナジーを強く意識して事業機会を追求していく。

2. 2025-2027 中期経営計画

Q5. 株主還元額が旧中計実績 6,200 億円から 4,000 億円へ減額となる理由は？

- ▶ 旧中計期間の事業環境は平均油価 87.0 ドル、平均為替 141.3 円で、約 6,200 億円の株主還元を実施した。今回中計においては、油価 70 ドル、為替 135 円を前提として 4,000 億円への株主還元をお示したが、今回中計期間においても、業績の成長に合わせた株主還元の強化を行うことを考えている。

Q6. 投資 CF が旧中計実績約 1.1 兆円から 1.8 兆円へ増額となる理由は？

- ▶ 積極的な成長投資の実行を志向するものの、投資規律の遵守・株主価値の拡大に資する案件であることが前提となることから、良い案件があれば更に投資を増やす可能性がある一方、条件が整わなければ投資額が減る可能性もある。

Q7. 投資 CF が想定よりも小さくなった場合、株主還元に戻すつもりであるか？

- ▶ 中長期的な外部環境の見通しや財務状況、アバディ等の将来の成長投資に向けた資金手当ての状況を総合的に勘案して、余剰のキャッシュが存在する場合は積極的な還元強化を検討する。

Q8. 事業分野別の投資判断基準は？

- ▶ 石油・天然ガス事業は、FID 時点で凡そ 10%台半ばの Equity IRR を目指す。
- ▶ 再生可能エネルギー事業については、凡そ 10%程度の Equity IRR を目指す。また、石油・ガス以外の地下資源の回収事業については、事業の性格やリスクの程度に応じて個別に判断していくが、目安としては 10%程度の Equity IRR を目指す。
- ▶ CCS/水素事業は、プロジェクト個別の事情や政府支援の活用等も加味した上で判断する。

Q9. 2027 年の ROE・ROIC 目標の油価・為替前提は？

- ▶ 社外の調査機関の長期油価見通しやインフレ動向・予想等を総合的に勘案し、油価 80 ドル程度、為替 150 円程度を念頭に置いている。

Q10. 2027 年度の当期純利益目標は？

- ▶ 社外の調査機関の長期油価見通しやインフレ動向・予想等を総合的に勘案し、油価 80 ドル程度、為替 150 円程度を前提とした場合、当期利益 4,000 億円以上を目指す。

Q11. なぜ今回累進配当を導入したのか？

- ▶ 配当は業績の短期的な変動に拠らず、長期的な安定を土台としつつ着実に強化していくことが基本方針。当社はこれまで業績の成長に沿って、配当強化を着実に進めてきたが、この方針を株主・投資家の皆様に明示的にお示しすることで、配当の安定/維持と成長/増配の予見性を高めることが目的。

Q12. 累進配当は 2028 年度以降も続くのか？

- ▶ 配当については、イクシス生産開始以降 2020 年の減配を除いて一貫して増配を続けており、一時的な業績不振や事業環境の大幅悪化時を除いて減配は考えておらず、2028 年以降においても維持または強化していきたい。

以上

注意事項：

本書に記載される情報は、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

本書に掲載される情報（将来予想に関する情報を含む）を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。